**やってみようPythonプログラミング　ワークシート**

①分岐

○　フォルダ内にある次の３つのファイルを実行したり、編集画面を見たりしてみましょう。

・「06-1占いゲーム.py」　　　　　・「06-2おつり計算.py」　　　　　・「06-3うるう年判定.py」

**今日の制作活動**

① サンプルプログラムを参考に、分岐や多分岐を組み合わせたプログラムを自由に作りましょう。

　【使用する関数等】

|  |  |
| --- | --- |
| 関 数 等 | 意　味 |
| print('\*\*\*') | ・\*\*\*を表示する。・「print(namae + '\*\*\*')」とすれば、「namae」に入っているものと\*\*\*を繋げて表示する。 |
| input('\*\*\*') | ・\*\*\*を表示して、入力を受け付ける。・「namae = input('\*\*\*')」とすれば、入力したものを「namae」に代入する。・「int(input('\*\*\*'))」とすれば、入力したものを数字として受け付ける。 |
| if 条件式1:\*\*\*1elif 条件式2:\*\*\*2else:\*\*\*3 | ・条件式に従って\*\*\*1~\*\*\*3のいずれかを実行する。・「elif」は使わなくても、複数回使っても良い。・\*\*\*1~\*\*\*3の命令は１行でなく２行以上でも良い。・「if」「elif」「else」の書き出しの位置、\*\*\*1~\*\*\*3の命令の書き出しの位置はそれぞれそろえる。 |

　【Pythonの比較演算子（半角）】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 演算子 | 意　味 | 使用例 | 意　味 | 備　考 |
| == | 等しい | **a == 10** | aは10と等しい | 「=」は２つ |
| != | 等しくない | **b != 20** | bは20と等しくない |  |
| > | 左辺が右辺より大きい | **c > 30** | cは30より大きい | 「>」は１つ |
| < | 左辺が右辺より小さい | **d < 40** | dは40より小さい | 「<」は１つ |
| >= | 左辺が右辺以上 | **e >= 50** | eは50以上 |  |
| <= | 左辺が右辺以下 | **f <= 60** | fは60以下 |  |

|  |
| --- |
| **ワンポイント！ ～最後の行にinput()がある理由～**　Pythonファイルはダブルクリックで実行できます（黒い画面で実行される）。しかし、処理が終わると画面は消えてしまい、何が表示されたのか分かりません。input()を入れておくことで、入力を待っている状態になるため、実行画面が表示されたままになります。 |

　② 制作したプログラムに名前を付けてサーバに保存しましょう。

　　 保存先：　　　保存先をここに書きます

　　 ファイル名：学籍+自分の名前+作品番号.py（例．1101fukudabunki01.py）

　③ 保存ができたら他の人のプログラムを実行したり、編集画面を見たりしてみましょう。

　　 それを参考にして自分のものを改良してもＯＫ！

　④ 他の人のプログラムを実行して、気がついたことや良かった点をメモしておきましょう。



QRコードを貼りま

しょう

**今日の振り返り**

Formsを開きましょう →　　　Formsのアドレスをここに書きます